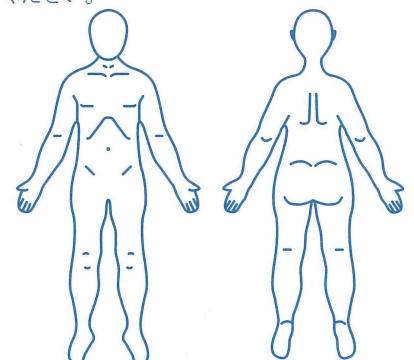


傷 害 保 険 後 遺 障 害 診 断 書

カルテNo					記入にあたってのお願い 1. この用紙は、傷害保険における後遺障害認定のためのものです。事故に起因した精神・身体障害とその程度について、できるだけ詳しく記入してください。 2. 歯牙障害については、歯科後遺障害診断書を使用してください。					
氏 名				男・女						
生年月日	明治 大正 昭和 平成	年	月	日 (歳)						
住 所					職 業					
受傷日時	年	月	日	時	症 状 固 定 日	年	月	日		
当 院 入院期間	自 至	年	月	日 () 日	当 院 通院期間	自 至	年	月	日 () 日	実治療日数
傷 病 名									(左記の傷病名は 年 月 日現在のものである)	
既存障害	今回事故以前の精神・身体障害：有・無 (部位・症状・程度)									
自覚症状										
各部位の後遺障害の内容 〔各部位の障害について、該当項目や有・無に○印をつけ①の欄を用いて検査値等を記入してください〕										
①	精神・神経の障害 他覚症状および検査結果	知覚・反射・筋萎縮など神経学的所見や知能テスト・心理テストなど精神機能検査の結果も記入してください。 X-P、CT、EEG などについても具体的に記入してください。 眼・耳・四肢に機能障害がある場合もこの欄を利用して、原因となる他覚的所見を記入してください。								
										
		(図示してください。)								
②	胸部臓器・生殖器・泌尿器の障害	各臓器の機能低下の程度と具体的症状を記入してください。 生化学検査・血液学的検査などの成績はこの欄に簡記するか検査表を添付してください。								
③	眼球・眼瞼の障害	視 力		調 節 機 能		視 野		眼瞼の障害		
		裸 眼	矯 正	近点距離・遠点距離		調節力				
		右		cm	cm	() D	イ. 半盲 (1/4半盲を含む) ロ. 視野狭窄 ハ. 暗点 ニ. 視野欠損		イ. まぶたの欠損 ロ. まつげはげ ハ. 開瞼・閉瞼障害	
		左		cm	cm	() D				
		両眼		複 視		イ. 正 面 視 ロ. 左右上下視		〔視野表を添付してください〕		
		眼球運動								注視野障害 (全方向1/2以上の障害) 右 左
		眼症状の原因となる前眼部・中間透光体・眼底などの他覚的所見を①の欄に記入してください。								図示してください

④ 聴力と耳介の障害	オーディオグラムを添付してください				耳介の欠損		⑤鼻の障害		⑦醜状障害 (採皮痕を含む)	
	イ. 感音性難聴 (右・左) ロ. 伝音性難聴 (右・左) ハ. 混合性難聴 (右・左)		聴力表示 イ. 聴力レベル ロ. 聴力損失		イ. 耳介の 1/2 以上 ロ. 耳介の 1/2 未満		イ. 鼻軟骨部の欠損 (右⑦に図示してください) ロ. 鼻呼吸困難 ハ. 嗅覚脱失 ニ. 嗅覚減退		1. 外ばう イ. 頭部 2. 上肢 ロ. 顔面部 3. 下肢 ハ. 頸部 4. その他	
	検査日		6分平均		最高明瞭度		〔右⑦欄に図示してください〕		⑥そしゃく・言語の障害	
	第1回	年月日	右	dB	dB	%				
	第2回	年月日	右	dB	dB	%	〔聴力レベル30dBの難聴を伴う耳鳴を対象とします〕		原因と程度 (摂食可能な食物、発音不能な語音など) を左面①欄に記入してください	
	第3回	年月日	右	dB	dB	%				
	年月日	左	dB	dB	%	右・左		図示してください。		

⑧ 脊柱の障害	圧迫骨折・脱臼 (椎弓切除・固定術を含む) の部位 コブ法により彎曲度を測定				運 動 障 害	イ. 頸椎部		ロ. 胸腰椎部		荷 重 機 能 障 害	常時コルセット 装用の必要性 有・無	⑨ 体幹骨の変形	イ. 鎖骨		ニ. 肩甲骨		ロ. 肋骨		ホ. 骨盤骨		ハ. 肋骨	
	X-Pを添付してください					前屈	度	後屈	度				右屈	度	左屈	度	裸体になってわかる程度 X-Pを添付してください					
	X-Pを添付してください					右回旋	度	左回旋	度													

⑩ 上肢・下肢および手指・足指の障害	短縮	右下肢長	cm	(部位と原因)	長管骨の変形	イ. 仮関節		ロ. 変形癒合	
		左下肢長	cm			X-Pを添付してください			

欠損障害 (腿断部位を 図示してください)	上肢		下肢		手		指		足		指				
	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)	(左)			

関節機能障害 (日整会方式により自動他動および 健側患側も記入してください)	関節名	運動の種類	他動		自動		関節名	運動の種類	他動		自動	
			右	左	右	左			右	左	右	左
	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度

障害内容の増悪・緩解の見通しなどについて記入してください。

上記のとおり診断いたします。

所在地
名称
診療科
医師氏名

診断日 年 月 日
診断書発行日 年 月 日

㊦